

平成 29 年度
教科に関する科目
図画工作

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、試験問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題は、2問あります。2問とも解答してください。
3. 解答用紙は、1問につき1枚（表のみ）使用してください。
4. 受験番号、氏名を解答用紙の指定された欄に2枚とも必ず記入してください。
5. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから60分です。
6. 試験が終わるまで退出できません。
7. 「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。
8. 下書きには、問題冊子の余白を使用してください。
9. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。

問1 「小学校学習指導要領」(平成20年文部科学省告示第27号)「第2章 第7節 図画工作」における「2 内容 A 表現(1)」の「材料を基に造形遊びをする活動」について、次の問題に答えなさい。

(1) 小学校図画工作科における「材料を基に造形遊びをする活動」と、「休み時間の遊び」との違いについて述べなさい。

(2) 次の文は、「小学校学習指導要領」(平成20年文部科学省告示第27号)「第2章 第7節 図画工作」における「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」に示された内容の一部である。①～⑮に入る材料や用具を答えなさい。なお、①～⑦について、⑧～⑬について、⑭⑮については順序を問わない。

ア 第1学年及び第2学年においては、①，②，③，紙，④，⑤，⑥，⑦，簡単な小刀類など身近で扱いやすいものを用いることとし、児童がこれらに十分に慣れることができるようにすること。

イ 第3学年及び第4学年においては、⑧，⑨，⑩，⑪，⑫，使いやすいのこぎり，⑬などを用いることとし、児童がこれらを適切に扱うことができるようにすること。

ウ 第5学年及び第6学年においては、⑭，⑮などを用いることとし、児童が表現方法に応じてこれらを活用できるようにすること。

問2 次の図の作品について、(1)～(4)の問題に答えなさい。

ピエト・モンドリアン
《赤と黄と青のあるコンポジション I》
ハーグ市立美術館蔵

承諾を得ておらず不掲載

- (1) 図の作品の制作者名を答えなさい。
- (2) 図の作品の制作者が1910年からパリに滞在した際、特に影響を受けた絵画様式（主義）を答えなさい。
- (3) 図の作品の制作者とともに抽象絵画の先駆者の一人とみなされ、『芸術における精神的なもの』を著した画家の名前を答えなさい。
- (4) 図の作品の制作者の活動について、①～④の語句をすべて用いて述べなさい。

① オランダ ② デ・ステイル ③ 新造形主義 ④ アメリカ